

# 投 光 器

国労東海貨物協議会  
2018年3月3日  
発行責任者 鈴木和巳

## 春闘勝利・ベア獲得貨物東海支社前行動を開催！

3月2日（金）12時10分より国労東海本部主催「春闘勝利・ベア獲得貨物東海支社前行動」が開催され、貨物組合員及び名古屋、静岡、新幹線各地方本部の旅客組合員を含め総勢50人以上が結集しました。

はじめに、主催者である東海本部長岡委員長から挨拶を受け、全国貨物協議会、名古屋地方本部、静岡地方本部、新幹線地方本部の各代表者から連帯の挨拶を受けました。

東海貨物協議会鈴木議長からは、「国労本部及び東海本部の春闘申し入れ」「国内の春闘情勢」「貨物会社の実態と社員の現状」「55歳以上の労働実態と賃金」「運転職場における要員不足問題」「駅・検修・保全職場における技術継承問題」「青年労働者の実態」等について挨拶され、「19年連続ベアゼロ



阻止、ベア満額獲得を目指し、貨物社員が安全・安心して働き続けられる環境や労働条件の改善に向け闘う決意が表明されました。

続いて、九州貨物協議会からの激励メッセージが披露され、東海貨物協議会小川副議長の発声でシュプレヒコールを行い、JR貨物東海支社に対し労働者の怒りを訴えました。最後に東海本部上野書記長の力強い「団結ガンバロー」で貨物東海支社前行動を終了しました。

午後からは名古屋国鉄会館6階会議室に場所を移し、貨物・旅客組合員22名が結集する中、「2018春闘学習会」が開催されました。はじめに、鈴木議長から「貨物会社を巡る情勢、18春闘の背景と闘い、ストライキ要請と体制の確立、各地方での宣伝行動、ダイヤ改正関係、組織強化・拡大」について挨拶され、全国貨物協議会眞田議長からは「貨物会社の状況、春闘交渉の経過や行動、春闘個人署名、各系統の要員不足問題、貨物会社の体力、貨物労の動向」挨拶されました。

18春闘学習会は、引き続き全貨協眞田議長を講師に『貨物会社の現状と新人事賃金制度について』と題し、「JR発足30年の現状と課題」「貨物会社の現状と社員の实態」「JR貨物グループ中期経営計画2021の特徴と問題点」「今後の経営課題」「我々に求められる今後の取り組みと課題」、新人事賃金制度導入については「経営統括本部総務部人事制度改正推進室の新設」「予想される問題点」「現状にある背景」「国労としてどう対応していくのか」について講義され、続いて東海本部上野書記長を講師に『労働者にとって賃金とは？』と題し、「そもそも賃金とは？」「退職金や期末手当は賃金？」「賃金は生計費原則」「同一労働・同一賃金って何？」「もう一度賃金を見直そう」について講義を受けました。

新人事賃金制度を含めた「中期経営計画2021」は誰が一番得をする施策なのかを常に監視していかなければならないことや、「同一労働・同一賃金」が経営者側と労働者側との思惑に乖離があること、鉄道部門の黒字化が達成し経常利益が過去最高の88億円を確保したにも関わらず、憲法で保障された「健康で文化的な最低限度の生活を営む」ことができる賃金なのかを改めて考えさせられる学習会となりました。



貨物会社の内部留保について、国労が試算した額は昨年より約90億円多い、約990億円にも達し、「12,000円」のベアは僅か1.45%を切り崩せば実現可能であり体力は十分にあります。貨物労働者の生活を守るため客・貨一体となり、ベア満額獲得に向け闘うことを全体で確認しました。

学習会終了後の懇親会では、職場の問題や運動に対する議論が白熱し、親交と団結を深める中で労働条件と更なる組織拡大に向け奮闘することを決意しました。

# 投 光 器

国労東海貨物協議会  
2018年3月7日  
発行責任者 鈴木和巳

## 2018春闘勝利！3.6中央総決起集会を開催！

国労は3月6日（10時より）、18春闘行動の一環として国会議員への要請行動を行いました。

要請行動は全国から組合員が衆議院第2議員会館に結集し、衆参  
国土交通委員及び北海道・四国・九州選出議員179名に対して、

①JR各社の鉄道路線の維持・存続に必要な制限的措置、②必要な  
法改正や制度整備への働き掛け、③安全文化の構築への指導や働き  
掛け、④JR北海道・JR四国に対する経営安定基金の追加的積み増し及び税制の三島特例の延長  
と恒久化、⑤鉄道基盤の維持に対する公的助成の制度的な仕組みの検討、⑥鉄道軌道整備法の適用  
範囲の拡大及び補助率・補助額のかさ上げ、⑦JR貨物の経営改善・経営安定化を図るダイヤ設定  
及びアボイダブルコストルールの恒久化、⑧リニア中央新幹線の建設に対する安全問題などの指導  
と働き掛け—の8項目と、国労が作成した「JR発足30年にあたって、鉄道政策に関する提言」  
のパンフと合わせ要請を行いました。



午後からは代々木公園野外ステージに場所を移し、「2018春闘  
勝利！3.6中央総決起集会」が開催されました。総決起集会へは  
東海貨物協議会から11名（前日からの青婦家行動に参加の青年部  
2名）を含め13名の組合員が結集し集会に参加してきました。

総決起集会は国労本部佐々木副委員長の司会で始まり、主催者として国労本部菊池委員長の挨拶  
を受け、来賓の交運労協高松事務局長、全労協金澤議長、平和フォーラム勝島事務局長、日本労働  
弁護団福田弁護士から挨拶をいただき、続いて国労本部松川書記長から「2018春闘に向けた取  
り組み」の提起と報告を受け、北海道・東日本・東海・西日本・四国・九州各本部代表者及び全国  
貨物協議会代表者から決意表明が述べられ、最後に中嶋青年部長による「団結ガンバロー」で18  
春闘勝利！3.6中央総決起集会は終了しました。

集会終了後、15時30分よりデモ行進が行われ、代々木公園野外  
ステージを出発し、JR貨物本社前では貨物会社に対して「19年連  
続のベアゼロ阻止、貨物労働者の労働条件改善」など力強いシュプレ  
ヒコールで訴えてきました。その後、新宿公園まで約1時間10分に  
亘るデモ行進が終了し、18春闘勝利へ向けた一日行動は無事終了しました。



早朝からの一日行動、また前日からの行動に参加された組合員の皆さん、大変ご苦労様でした。